

**2014年3月期
第2四半期
決算説明資料**

川澄化学工業株式会社

2013年11月8日

2014年3月期

第2四半期決算の概要

連結 金額: 億円

	2013/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減額	増減率
売上高	130.8	133.5	2.7	2.0%
売上総利益	40.6	42.8	2.2	5.3%
販管費	39.6	42.4	2.8	7.0%
営業利益	1.0	0.4	△0.6	△60.2%
経常利益	1.7	△0.2	△1.9	-
特別損失	5.4	0.3	△5.1	△94.4%
当期純利益	△4.1	△2.7	1.4	-
売上原価率	68.9%	67.9%	△1.0%	

売上高は、国内向け血液バッグの販売増加や胸部大動脈用ステントグラフトの販売を開始したことなどで、前年同期に比べて2.7億円の増加

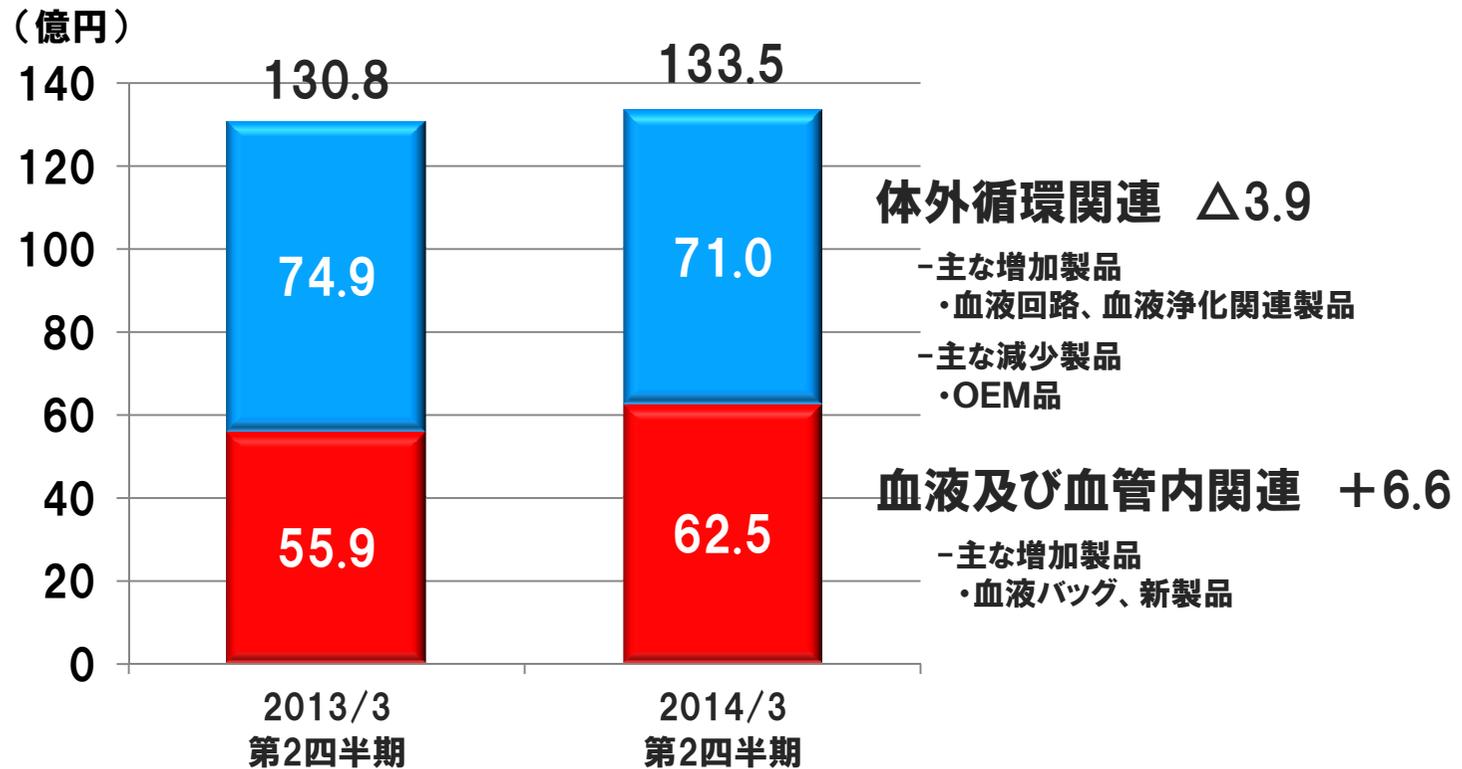
売上総利益は、売上増加やコスト低減などにより、前年同期に比べて2.2億円の増加

営業利益は、研究開発費の増加やタイ血液バッグ新工場の稼働前費用の計上などにより販管費が2.8億円増加したことから、前年同期に比べ0.6億円減少

当期純利益は、前年同期に特別損失として計上した洪水復興関連費用の計上がなくなったことなどから、前年同期に比べ1.4億円の改善

2014年3月期

売上高(セグメント別)



【血液及び血管内関連】

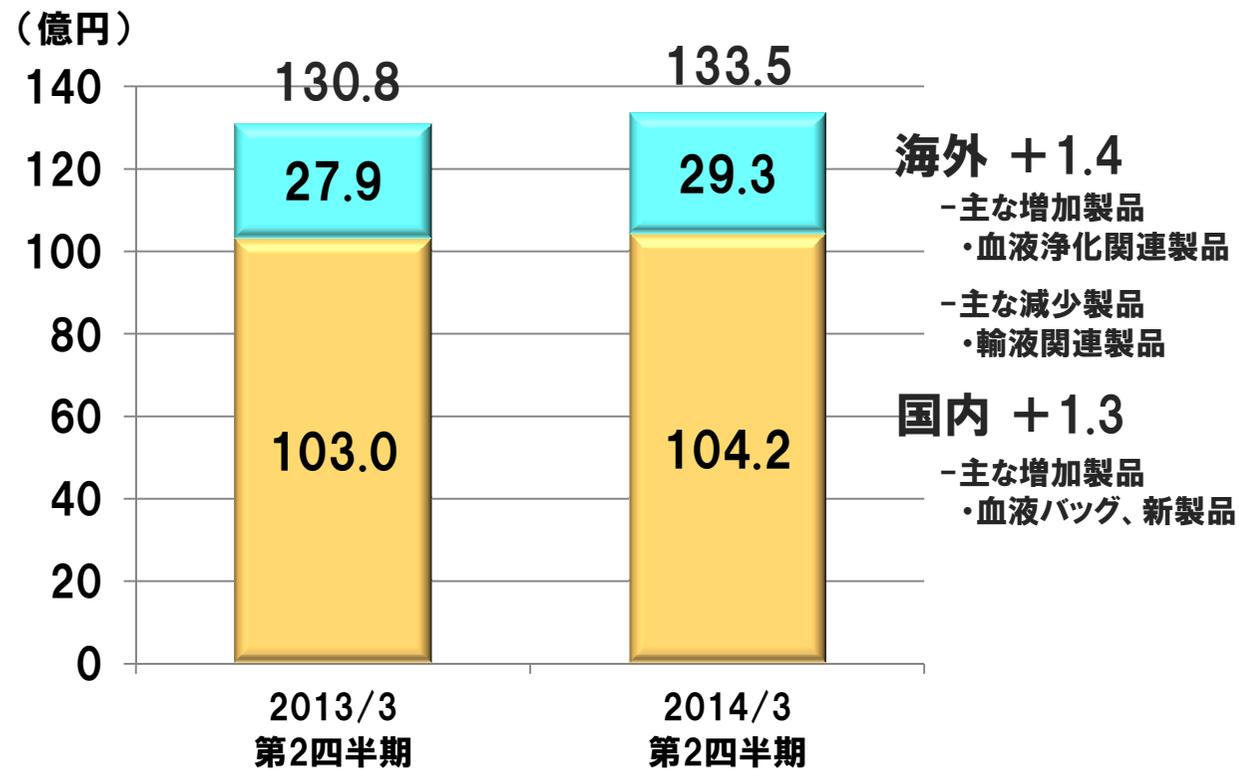
- ・国内向け血液バッグの販売が増加
- ・新製品の胸部大動脈用ステントグラフトを販売開始

【体外循環関連】

- ・血液回路の販売が回復
- ・血液浄化関連製品の販売が増加

2014年3月期

売上高(国内外)



【国内】

- ・血液バッグの販売が増加
- ・新製品の胸部大動脈用ステントグラフトを販売開始

【海外】

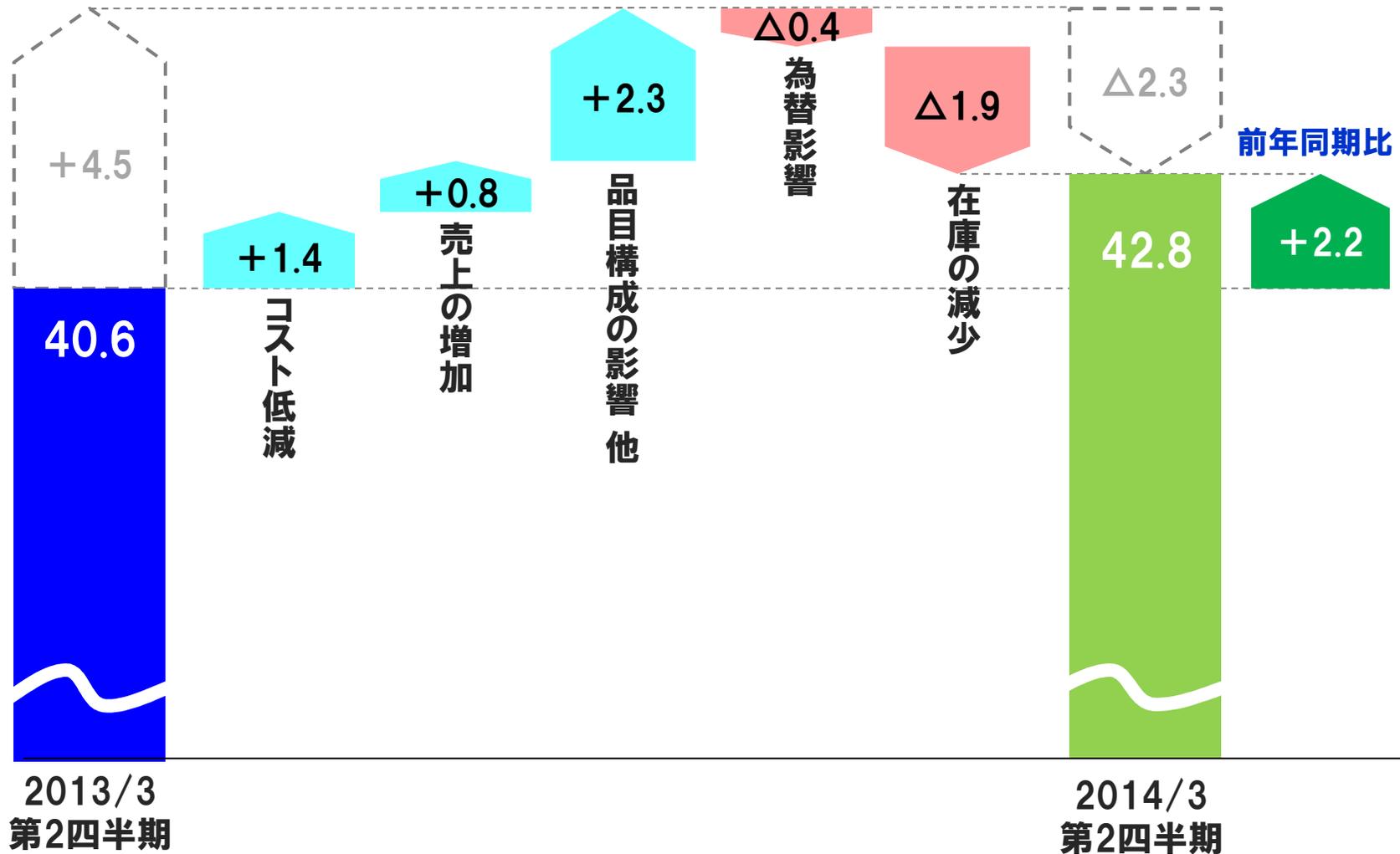
- ・血液浄化関連製品の販売が増加

2014年3月期

売上総利益の増減要因

<前年同期比>

(単位:億円)



2014年3月期

販売費および一般管理費

連結

金額:億円

	2013/3 第2四半期	2014/3 第2四半期	増減額
人件費	14.8	15.0	0.2
運送費	5.5	5.2	△0.3
研究開発費	4.9	5.2	0.3
その他	14.4	16.9	2.5
合計	39.6	42.4	2.8

- ・運送費は、出荷量の減少などにより前年同期比で減少
- ・研究開発費は、癒着防止材の治験費用などにより前年同期比で増加
- ・その他、タイ血液バッグ新工場の稼働前費用を計上したことなどにより増加

2014年3月期

業績予想値との比較

連結	第2四半期			
	業績予想 (5月10日開示)	実績	増減額	増減率
売上高	141.0	133.5	△7.5	△5.3%
営業利益	2.5	0.4	△2.1	△83.6%
経常利益	2.5	△0.2	△2.7	-
当期純利益	0.5	△2.7	△3.2	-

- ・売上高は、血液バッグの販売が一部下期にずれ込んだこと、透析用血液回路や生理食塩液の販売拡大が期首計画を下回っていることなどにより、業績予想値に比べ7.5億円の減少
- ・営業利益は、売上減少にともなう粗利減少などにより、業績予想値に比べ2.1億円の減少

血液バッグ新工場

タイ洪水被災後に建設を進めてきた新工場が操業開始へ

- 所在地 : タイ国ナコンラチャシマ県 コラート工場内
- 設備投資額 : 約26億円
- 生產品目 : 血液バッグ
- 生産能力 : 従来工場の1.5倍（およそ1,000万セット／年）
- 販売先 : 世界各国
- 操業開始 : 2013年11月



The logo for Kawasaki Chemical Industry Co., Ltd., featuring a stylized 'K' inside a circle.

川澄化学工業株式会社

本資料に関するお問合せ

川澄化学工業株式会社
経営企画室

TEL : 03-5769-2698

Email : webmaster1@kawasumi.jp